

Nシカクいエコをマルくする。小4~小6

① メダカは体長4cm程で、日本にせい息する最も小さな淡水魚です。学名のOryzias latipesは『稲のまわりにいる足(ヒレ)の広い魚』という意味です。目が大きく、頭部の上端から飛び出しており、名前の由来になっています。鑑賞魚として古くから日本で親しまれてきました。そのため、魚類で最も数の多い方言名を持っていると言われていています。幸川十歩という人は4680の方言名を日本全国から調査収集しました。短いものではメ・ウキから始まり、長いものではオキンチョコバイ・カンカンビイチャコなどというものまで記録されています。メダカは、江戸時代に来日したシーボルトによって、1823年に西欧世界にも初めて報告されました。

メダカは、日本、台湾、朝鮮半島、中国、ベトナム、スリランカなどに分布しています。日本では、(ア)を除く各地にせい息しています。流れのゆるい小川や水路などにせい息し、動物プランクトンなどを食べます。また、1回の産卵に約10個の卵を産みます。通常、春から夏にかけて産卵し、ふ化した稚魚は夏から秋の間に成長し、次の年に産卵します。また、蚊の幼虫である(イ)を好んで食するため、人間の役にたつ魚としても知られています。以前から、絶滅が心配されていましたが、2003年5月に環境省が発表したレッドデータブックに記載され、*絶滅危惧種に指定されました。

(1) 文中の(ア)(イ)にあてはまる言葉を答えましょう。アには都道府県名が入ります。

答 え	ア	イ

(2) 文中の下線部について、そうなった主な原因について、次のように説明しました。下の文中の(ウ)(エ)に入る言葉は何ですか。エには在来種または外来種のどちらかの言葉が入ります。

「減少の主な原因は、田畑での(ウ)の使用や生活排水などによる環境の悪化、土手の工事や水路の整備などによる流れのゆるやかな小川の減少、繁殖力の強い(エ)であるカダヤシとの争いに負けたことなどがあげられています。」

答 え	ウ	エ

② 「水道」の水を使うことにより、二酸化炭素が排出される理由を説明しましょう。

答 え	
--------	--

ID									小4 ~小6
パスワード									男・女
氏名									



N-eco
このマークは、日能研の環境への取り組みをお知らせする目印です。

採点者	
小4~小6	

(無断転載・複製を禁ず)